

附1.2

456

訂正
觀世流
内百拾番

了
祿
免

4

宋女

見^見る諸國一見ハ僧より作我此



多都^多方^方の^の寺社跡^跡あり

あ^あら^らり^りて^てハ^ハ又^又見^見る^る南^南都^都

見^見る^るも^もや^や思^思ひ^ひの^のハ^ハま^まや^やの^の

十日^{十日}餘^餘の^の都^都を^を核^核と^とす^する^るま^まを^を

こ^この^のま^まの^のま^まの^の影^影も^も抄^抄す^す都^都



宋

陰頼まじと教厚也。氏人よりてし
し文は本すよるあへて陰頼の改行なく
かやふよるあへて陰頼の改行なく
ちりあきしりし事信ちりし事
たごの葉も一葉もさへくさなく
去ぬつとて惜し給ふも行ぬさるる
こころはまじの陰頼の改行なく

みおたれおれとて陰頼の改行なく
悲萬行の自れ敷るる事の比は長岡
まき五重の識の月よりさるる事
さるる事陰頼の改行なく
唯のりそあへて陰頼の改行なく
佛の神木と思ふ事お思ひ給ひ
上言
ウア
ヤア

ねつりめりくこた乃みるうよるヤかにひくを
音あうていぶ法流すのきねくわ昔
き冥路のゆくて妙は尋経をいひて
今き居るやと度さしてく大明神と顯
き此山は信人た総のたひともこ
等していふは遠とて又梅葉樓樹の才陰
とて感あふ藤葉てたれもて行くはもと
そ

山長因縁の冥山の峰去の春よた
あ

めく

早早 早 早

あなさるる各地もくは教へ女 女

あ

思思 思 思

よ

佛事とてやあしりてはたかひに

しひの由る(也) ^也 思ふに

かゝるに投るは

あつたての帝は

あつたての帝は

あつたての帝は

あつたての帝は

あつたての帝は

あつたての帝は

あつたての帝は

あつたての帝は

あつたての帝は

あつたての帝は

あつたての帝は

あそびごと思ふ此様は御幸あて

女向 家女う死骸を教習あれ 甲上 けし

あさきしうのくくし 女 翡翠平乃心

さし蟬指乃髻 甲上 かつら松眉目曇

女 だんごの唇 甲上 柔糸の姿うつく

池乃きくまふれうきもあそび

思ふく 甲上 見兒きこわくた事教ふ

猿はきく 甲上 池乃あそび 其 かんね

悲しむ 甲上 数もあそび 其 天出あそび

き 甲上 其 ち 其 ち 其 ち 其 ち

た 甲上 なるあそび 其 横火のき

る 甲上 ち 其 ち 其 ち 其 ち 其 ち

池 甲上 水入 其 ち 其 ち 其 ち 其 ち

池 甲上 の 其 ち 其 ち 其 ち 其 ち 其 ち

ちりもあはれん大君の心よのさるゝ熱家
 女成る女の心さるゝもあはれん
 露の情よりさるゝ敷感さるゝもあはれん
 うきうきしるもあはれん陰さるゝもあはれん
 けあはれん心さるゝもあはれん
 げもあはれん心さるゝもあはれん
 ともあはれん心さるゝもあはれん
 ともあはれん心さるゝもあはれん

ちりもあはれん大君の心よのさるゝ熱家
 女成る女の心さるゝもあはれん
 露の情よりさるゝ敷感さるゝもあはれん
 うきうきしるもあはれん陰さるゝもあはれん
 けあはれん心さるゝもあはれん
 げもあはれん心さるゝもあはれん
 ともあはれん心さるゝもあはれん
 ともあはれん心さるゝもあはれん

ふも物も曲水は事乃有し時津去
きく口乃首乃月乃事く
とまきし息きた敷意
て遊樂乃月乃事乃月乃事
たき一事乃事乃事
そり物乃事乃事乃事乃事
如き事乃事乃事乃事乃事

かき松の葉乃事乃事乃事乃事
た乃事乃事乃事乃事乃事乃事
天地乃事乃事乃事乃事乃事
あき乃事乃事乃事乃事乃事乃事
雲面乃事乃事乃事乃事乃事乃事
乃事乃事乃事乃事乃事乃事乃事
乃事乃事乃事乃事乃事乃事乃事
乃事乃事乃事乃事乃事乃事乃事
乃事乃事乃事乃事乃事乃事乃事

宋世
清世
たのむのたごきとあふ讚
はるたのたごきとあふ讚
の因縁あるゆゑよく吊さるるを
て又浪よふよまりも波の底に入
りき

右之本者觀世太夫織部以章句

真本令放行畢

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入町
山本長兵衛

明治廿六年二月十七日印刷
明治廿六年二月同日訂正出版
明治廿六年三月九日別製本御届

定價三錢五厘

東京市麹町區飯田町四丁目壹番地
宮内省御用達

訂正者 觀世清廉

板權 所有

發行所
兼印刷者
京都市上京區二条通御幸町平一
捨常之助



